保　証　書

商品名　ニュースゥイング

型　式　NSW-1／NSW-1-D

1. 本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、下記販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
3. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスター・タイヤの摩耗やシートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
4. 保証期間内でも、次の場合は有償修理になります。
   （1）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （2）お買い上げ後の落下等による故障および損傷
   （3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷
   （4）一般家庭・施設・病院用以外に使用された場合の故障および損傷
   （5）本書の提示がない場合
   （6）本書にお買い上げ年月日、お客様のお名前、ご住所の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
（お客様相談室） TEL.03（5645）1235
受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/

ピジョンタヒラ株式会社

〒165-0021 東京都中野区丸山2-5-19
TEL.03（5373）6711（代表）
受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp

下記※印欄にご記入のない場合は無効となります。必ずご記入ください。

お客様		※ 販売店
ご住所 〒　　―		
お電話　　―　　―		
お名前	様	
※お買上げ年月日　　年　　月　　日		※お買い上げ時のレシート添付でも有効

ハビナース

ニュースゥイング

NSW-1・NSW-1-D

取扱説明書

（保証書付）

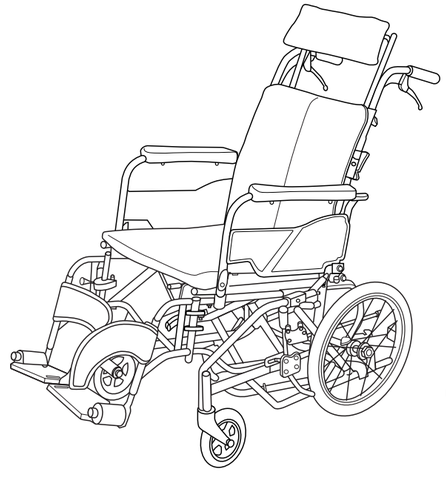
このたびは、ハビナース「ニュースゥイング」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますよう、お願いいたします。

なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。

目　次

1. 主な特長 …… 2
2. 各部の名称 …… 2
3. 警告･注意マーク …… 3
4. 安全にお使いいただくために …… 3
5. 使用方法 …… 6
6. 使用前の点検 …… 12
7. お手入れの方法 …… 13
8. 保管方法 …… 13
9. 仕　様 …… 14
10. アフターサービスについて …… 14
保証書 …… 16



（NSW-1）

本商品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。この取扱説明書に記載されている内容をよくお読みになり、十分にご理解された上でご使用いただくよう、よろしくお願いいたします。
また、この取扱説明書に書かれていない使用方法は絶対に行わないでください。

1 主な特長

シートの角度を変えることで、くつろげる座位姿勢がとれる車いすです。

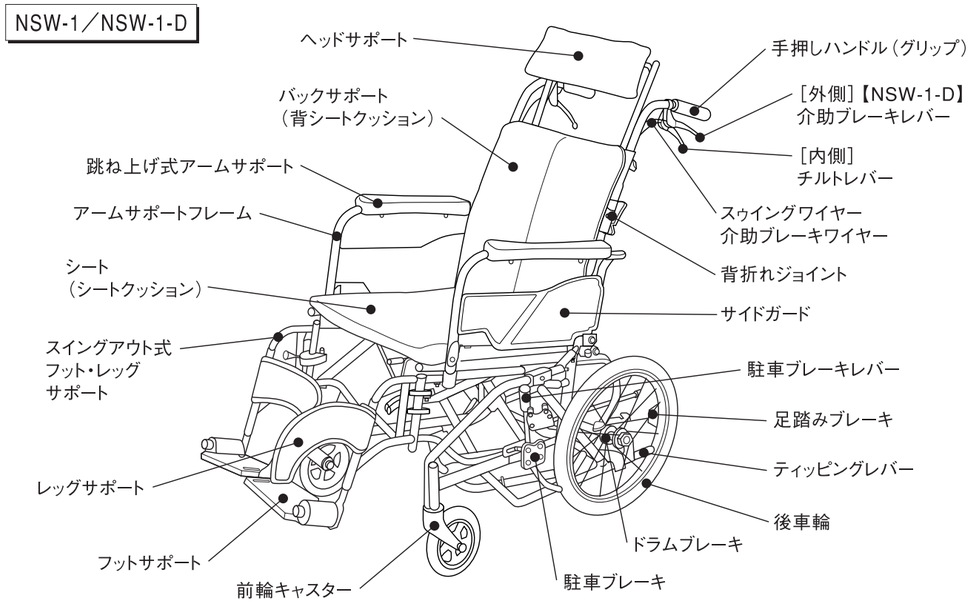
- シートのチルト角度を0～30度まで自由に設定できます。
  シートの角度を変えることで、前方への身体のズレを防止します。
- 張り調整式バックサポート。
  使用者の姿勢・体格に合わせて調整できます。
- 首を支えるヘッドサポート。
  身長に合わせて高さ調整ができます。

車いすへの移乗がスムーズにできます。

- 跳ね上げ式アームサポート。
  アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。
- スイングアウト式フット・レッグサポート。
  フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。また、フット・レッグサポートは取り外すことができます。

2 各部の名称

NSW-1／NSW-1-D



3 警告・注意マーク

商品を安全にご使用いただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ 禁止の行為であることを告げるものです。

❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

4 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 道路走行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

⚠ 警告

走行時の注意

⃠ 「ニュースウィング」は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。
　　使用者最大体重（積載物を含む）　100kg
⃠ スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは大変危険です。
❗ 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。
❗ 走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。
⃠ 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。
⃠ 走行中にシートのチルト角度調整、アームサポートのはね上げ、及びフット・レッグサポートのスイングアウト操作をしないでください。
⚠ 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。
⃠ バックサポートや手押しハンドルにものを掛けないでください。
⚠ 夜間や雨天時は通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。
⚠ 回転している車輪に指を挟まれないように注意してください。
⃠ タイヤを持って車輪を操作しないでください。ブレーキに指を挟み危険です。

次ページへ続く→

⚠ 警告

介助時の注意

- ⃠ 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどをしたり、タイヤの空気が膨張しパンクすることがあります。
- ⚠ 踏み切りを横断する際は、溝や踏み切りの線路による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。
- ⃠ 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。
- ⚠ 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスター及び地面、建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。
- ⃠ シート以外に腰掛けないでください。
- ⚠ 認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分にご注意ください。
- ⚠ アームサポートを跳ね上げる際は、可動部に身体または衣服をはさまないよう注意してください。

⚠ 注意

保守・点検の注意

- ❗ 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取り可動部に注油を行ってください。
- ⃠ 後車輪のドラムブレーキ部分には、注油しないでください。介助ブレーキが働かなくなり、十分なブレーキ性能が保てなくなります。
- ❗ 使用する前に後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- ⃠ 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- ⃠ 路面に段差や凹凸のあるところ、湿気の多いところ、雨風の当たるところには車いすを放置しないでください。
- ❗ ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

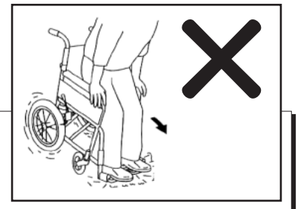
⚠ 注意

停止時の注意

- ❗ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

移乗時の注意

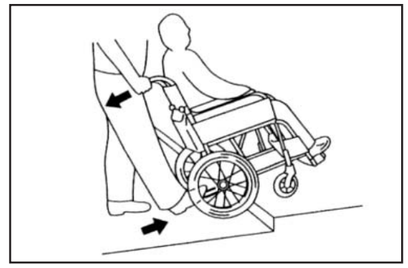
- ⚠ 移乗する時は、車いすのシートを水平の位置にもどして行ってください。
- ❗ 移乗する時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。
- ⃠ 移乗する時は、駐車ブレーキに体重をかけないでください。
- ❗ 移乗する時は、フット・レッグサポートを開くか、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。
  また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう、注意してください。
  フット・レッグサポートを閉じるときは、使用者の足をはさまないよう、
  注意してください。



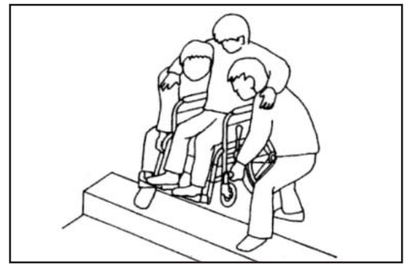
⚠ 注意	⃠ フットサポートの上に乗らないでください。

段差乗り越え時の注意

- ❗ 必ず背折れジョイントがロックされていることを確認してください。
- ❗ 足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



- ❗ 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げる時は、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。
- ⃠ アームサポート、フット・レッグサポート、背折れジョイントは持たないでください。



⚠ 注意	⃠ 無理な力による段差乗り越えはしないでください。 フレームの破損につながります。

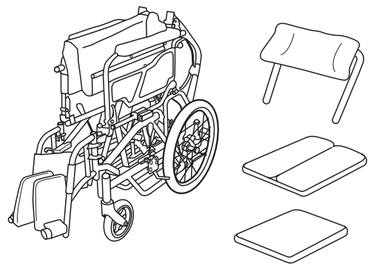
⚠ 注意	❗ フットサポートの先端を段差や障害物に当てないようご注意ください。

5 使用方法

（1）開封

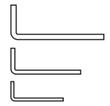
本体・付属品・取扱説明書が入っていることを確認してください。

●本体（ヘッドサポート/クッション）



●付属品

スパナセット 2本



六角レンチセット
（3mm・4mm・5mm）
各1本

●取扱説明書
（保証書）

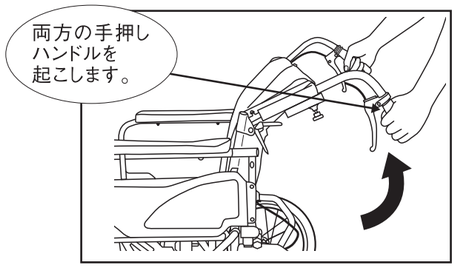
（2）使用方法

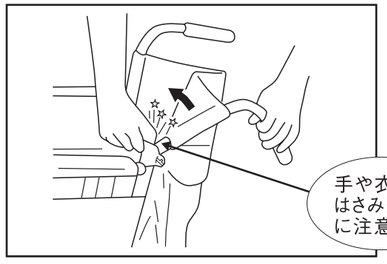
1）バックサポートの起こし方

車いすのシートを広げる前に、バックサポートを起こします。

バックサポートは最後まで起こしますと自動的にロックされます。

ワイヤーやシートなどを背折れジョイントにはさみ込まないように注意してください。





2）バックサポートのたたみ方

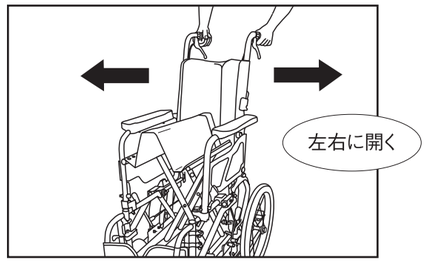
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを引きながら手押しハンドルをたおします。

⚠ 注意	⃠ バックサポートを起こす・たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または身体の一部や、衣服をはさんでケガをしたり、衣服が破損する恐れがあります。

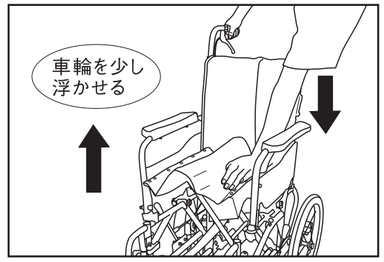
3）シートの開き方

① 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。※P.8_5）参照

② 手押しハンドルを軽く持ち、本体を浮かせながら左右に開きます。



③ 片側の車輪を浮かせ、浮いてない方のシート端を手で上から押します。



シートの両端を上から押し、シートがきちんと開いていることを確認してください。

⚠ 注意	⃠ シート端のパイプを握って押し下げないでください。 手をはさみ危険です。

4）シートのたたみ方

① 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P8_5）参照

② ノブボルトを緩めて、ヘッドサポートを取り外します。 ※P8_7）参照

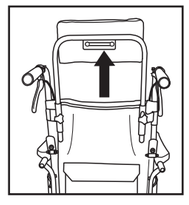
③ フットサポートを左右両方とも跳ね上げます。 ※P10_10）参照

④ 後車輪内側の連結棒を少し上方に持ち上げます。

⑤ シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げます。

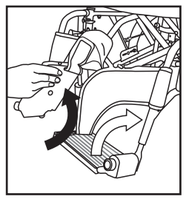
⑥ 両側からしっかり押さえます。

②



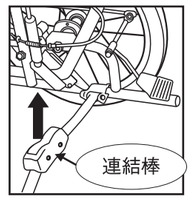
ヘッドサポートを
外す。

③



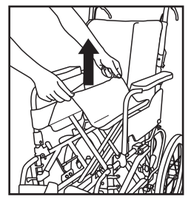
フットサポートを
跳ね上げる。

④



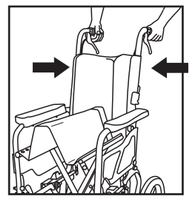
連結棒を
持ち上げる。

⑤



シートを
持ち上げる。

⑥



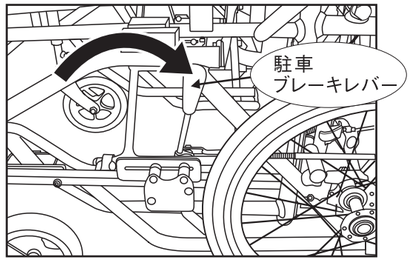
両側から押さえる。

次ページへ続く→

5）駐車ブレーキの掛け方、解除の方法

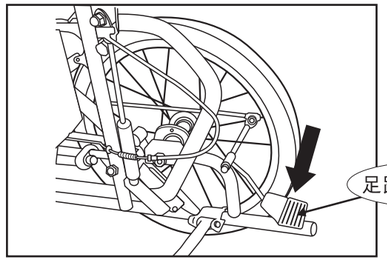
駐車ブレーキは、駐車ブレーキレバーを操作する方法と足踏みブレーキを操作する方法の2通りの方法で操作できます。

① 駐車ブレーキレバー操作



駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと駐車ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。

② 足踏みブレーキ操作



足踏みブレーキを下方向に踏み込むと、駐車ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。

⚠ 注意

❗ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

6）介助ブレーキ【NSW-1-Dのみ】

ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時にご使用ください。
左右の手押しハンドルにある介助ブレーキレバーをにぎると、ブレーキが掛かります。

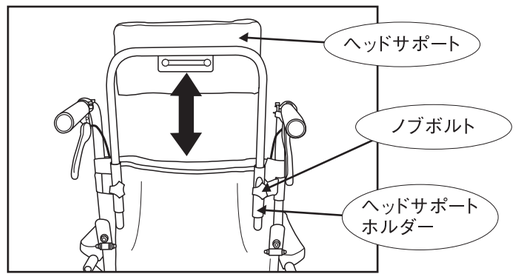
⚠ 注意

❗ 左右の介助ブレーキレバーは同時に均等な力で操作してください。
力のバランスが悪いと、車いすが左右に急に転回する恐れがあります。

※NSW-1は、介助ブレーキがありません。

7）ヘッドサポートのセット及び高さ調節

① バックサポートの裏側にある、ヘッドサポートホルダーのノブボルトを緩め、ヘッドサポートをヘッドサポートホルダーに差し込みます。
② ヘッドサポートの高さを使用者に合わせます。
ヘッドサポートは使用者の後頭部をささえます。
③ 位置が決まったら、ヘッドサポートホルダーのノブボルトを締め込み固定します。

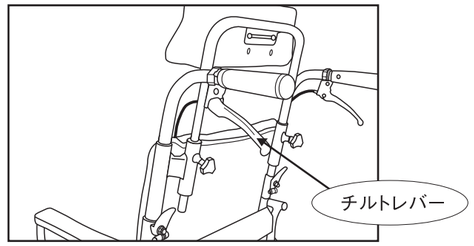


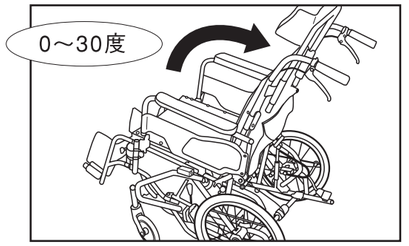
⚠ 注意

❗ 高さ調節を行った後は
必ず固定されていることを
確認してください。

8）チルト角度調整方法

① 手押しハンドルにあるチルトレバーを左右同時ににぎると、シート＋バックサポートの固定が解除され、任意の角度（0～30度）調節できます。





⚠ 注意

❗ チルトレバーの操作は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから
行ってください。

⚠ 注意

❗ 使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを十分に
確認してください。

⚠ 注意

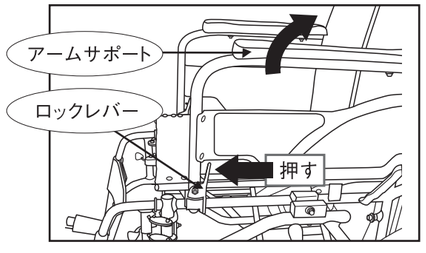
❗ 使用者を乗せてチルト角度調整をする時は、使用者を驚かせないために、
介助者は「たおします」「起こします」と操作の前に一声かけてから
行ってください。

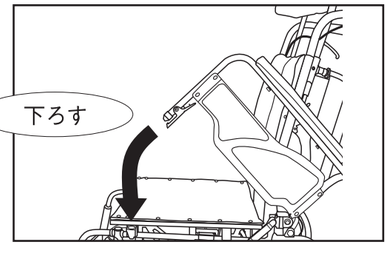
② 左右のチルトレバーの握りを戻すと、シートとバックサポートが固定されます。

9）跳ね上げ式アームサポートの取り扱い方法

アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

① アームサポートの跳ね上げ
ロックレバーを押しながらアームサポート跳ね上げます。
② アームサポートの取り付け
アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っ掛かるまで下ろします。





⚠ 注意

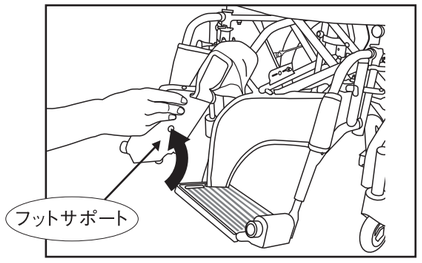
❗ アームサポートを下ろす際は、身体や衣服をはさまないように
注意してください。

⚠ 注意

❗ アームサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。
⃠ アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

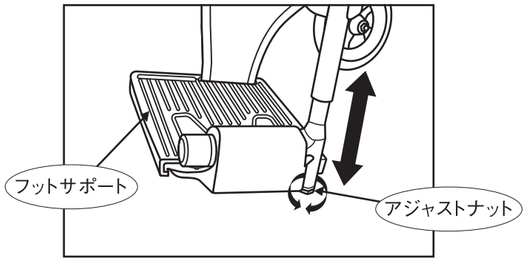
10）フットサポートの取り扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
移乗時や介助のさまたげになる時は跳ね上げてください。



11）フットサポートの高さ調節

①アジャストナットを付属品のスパナで緩め、フットサポートを上下させ使用者の足位置に合わせます。
②位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。



アジャストナットは確実に締め付けてください。

⚠ 注意

❗ フットサポート高さは、床から5cm以上あけてください。
車いすを走行させる時に障害物にぶつかる恐れがあります。

12）フットサポートの幅調節

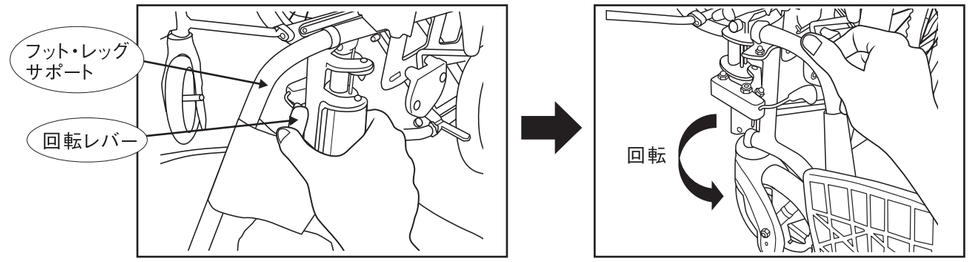
①フットサポート裏側の六角穴付きボルトを緩めます。
②フットサポートをスライドさせて幅を調整し、穴を合わせて六角穴付きボルトを締め込み固定します。

⚠ 注意

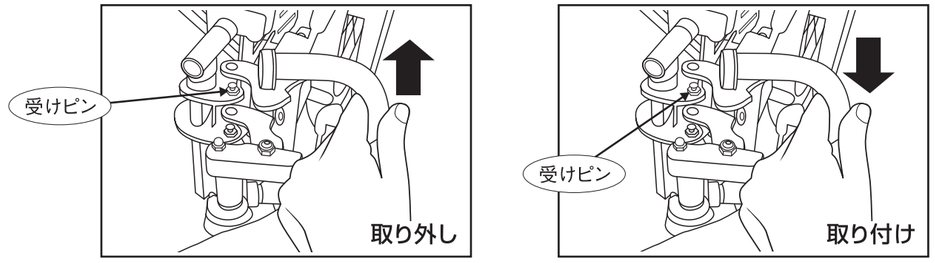
🚫 幅調節を行う際に、左右のフットサポートが重なるまで幅を広げないでください。破損する恐れがあります。

13）スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法

フット・レッグサポートを開くことで、ベッド・椅子などに近づくことができます。
① 回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



② 取り外しは、フット・レッグサポートを外側に回転させた状態で引き上げます。
③ 取り付けは、2つの受けピンにフット・レッグサポートの回転軸穴をはめ込みます。

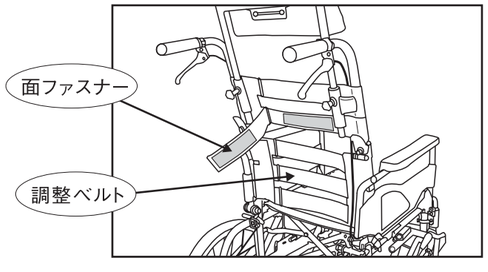


⚠ 注意

❗ フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。
❗ フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

14）調整シートの調整方法

使用者の体形に合わせて、バックサポートの張りを調整できます。



⚠ 注意

❗ 調整シートの調整は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから行ってください。

①後のポケット側の背クッションシートをめくり上げます。
②使用者の体形や使いやすいポジションに合わせて、調整ベルトの長さを調整します。
③調整ベルト部分の面ファスナーをしっかり固定します。
④めくり上げた背クッションシートを元にもどします。
⑤面ファスナーが固定されたことを確認してください。

6 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や異常を感じた時は、使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）へご連絡ください。

（1）ブレーキの作動確認

駐車ブレーキ

① 駐車ブレーキレバー操作と足踏みブレーキ操作を行い、ブレーキが掛かることを確認してください。

介助ブレーキ【NSW-1-Dのみ】

② 介助ブレーキを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

（2）バックサポートが固定されていることの確認

① 背折れジョイントがロックされていること、バックサポートが固定されていることを確認してください。

② 左右のチルトレバーを同時に握り、放したときバックサポートが固定されていることを確認ください。

（3）可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ネジの緩みのないことを確認してください。

（4）消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が消耗・劣化した時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）へご連絡ください。

> **⚠ 注意**
>
> ❗ 交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがありますのでご注意ください。

消耗品・交換部品

品　　名	交　換　時　期
後輪タイヤ	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
前輪キャスター	しっかり取り付けてもガタガタするとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。
スゥイングワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。
介助ブレーキワイヤー	ワイヤーにほつれ、サビが発生したとき。

7 お手入れの方法

（1）本体フレームのお手入れ

- 本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

（2）手押しハンドルなどのプラスチック部品、シート部のお手入れ

（シート、バックサポート、アームサポートなど）

- 汚れは中性洗剤でおとしてください。

> **⚠ 注意**
>
> ⃠ シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

（3）走行性の確認

- まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）へお問い合わせください。

（4）駐車ブレーキ作動確認

- 定期的に駐車ブレーキのリンク部に注油を行ってください。注油の際、ドラムブレーキ部分に油がつかないようご注意ください。

（5）シートの確認

- 車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をおすすめします。

8 保管方法

（1）収納スペースが少ないときはヘッドサポートを取り外し、車いすをたたんで保管してください。

（2）錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所には保管しないでください。

9 仕　様

型式		NSW-1	NSW-1-D
材質	シートフレーム	アルミ（アルマイト処理）	
	バック/アーム/レッグサポートフレーム	アルミ（粉体塗装処理）	
	シート	ナイロン（シート・バックサポート・レッグサポート）	
寸法	全幅	580mm	600mm
	全長	1,040mm	
	全高	1,000～1,300mm（ヘッドサポート調整範囲300mm）	
	座幅	400mm	
	前座高	460mm（座角0度）／560mm（座角30度）	
	後座高	460mm（座角0度）／380mm（座角30度）	
	シート角度調整範囲	0～30度	
	座奥行	405mm	
	バックサポート高	420mm	
	バックサポート角度	105度	
	アームサポート高	220mm	
	アームサポート奥行	405mm	
	手押しハンドル高	960mm（座角0度）／665mm（座角30度）	
重量		18.8kg	19.5kg

10 アフターサービスについて

この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）へお申しつけください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）へお問い合わせください。

商品の保証について

（1）保証内容につきましては、裏面の保証書をご覧ください。

（2）保証期間終了後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
（お客様相談室） TEL.03（5645）1235
受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/

ピジョンタヒラ株式会社

〒165-0021 東京都中野区丸山2-5-19
TEL.03（5373）6711（代表）
受付時間　9時～17時（土・日・祝日を除く）
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp